

令和7年度使用教科用図書採択

第3回枚方市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会

1. 日 時: 令和6年7月9日(火) 9時 00 分～12 時 30 分

2. 場 所: 教育委員会室 (輝きプラザきらら 3階)

3. 出席者

(1) 選定委員

い で う ち だ い ご
井 手 内 太 吾

学校教育部次長

た な か よ う こ
田 中 洋 子

枚方市立山田中学校長

ち は ら ま さ と し
千 原 正 敏

枚方市立樟葉西小学校長

な か た ゆ う す け
中 田 祐 介

枚方市立枚方中学校教頭

な か の よ う こ
中 野 洋 子

枚方市立蹉跎小学校教頭

ま き む ら た け し
牧 村 剛

枚方市PTA協議会代表

な か や ま よ し こ
中 山 佳 子

枚方市PTA協議会代表

(2) 事務局

く つ め ぎ よ し こ
沓 拔 淑 子

学校教育部 教育指導課 主幹

こ う さ か と も み
上 坂 友 美

学校教育部 教育指導課 主幹

か き う え ゆ う や
垣 上 祐 哉

学校教育部 教育指導課 係長

4. 配付書類・資料

(1) 第3回選定委員会次第

(2) 第1回選定委員会配付資料一式

(3) 第2回選定委員会配付資料一式

(4) 資料1: 第3回、第4回選定委員会種目別調査員代表説明予定表

(5) 資料2: 令和7年度使用教科用図書(中学校)調査の報告について

(6) 資料3: 令和7年度使用中学校用教科書の見本本について

(7) 資料4: 教科書センターの閲覧者の意見

5. 次第

- (1)開会の挨拶
- (2)令和7年使用中学校教科用図書採択に係る調査員報告
- (3)令和7年度使用中学校教科用図書採択に係る選定審議
- (4)その他
- (5)閉会の挨拶

6. 会議内容

教科書担当

・枚方市の附属機関条例において、委員の2分の1以上の出席が定められており、2分の1以上の出席を越えるため、会議が成立しており、条例第9条第1項に基づき非公開となっている旨の説明。

(1)開会の挨拶

井手内委員長

- ・只今より、令和7年度使用中学校教科用図書採択に係る、第3回教科用図書選定委員会を始める。
- ・本日からの選定委員会は、全種目の調査員の代表に、この選定委員会の場へ出席いただき、全発行者の教科書について、調査結果の報告を受ける予定をしている。調査員には、これまで集中して、公正かつ綿密な調査研究を行っていただいた。本日、そして明後日の選定委員会は、その調査員の報告に基づき審議を行ったうえで、教育委員会への意見を答申としてまとめるきわめて重要な会議となる。
- ・学習指導要領の目標、内容を踏まえ、本市の生徒にとって最適な教科書はどれかという視点で審議を行い、教育委員会で採択を行うにあたっての有効な意見を、まとめていきたいと思う。活発な発言を願う。

井手内委員長

- ・それでは、只今より審議に入るが、先に事務局の担当から本日新たに配付している資料及び、調査活動等の経過報告について説明を行ってもらう。

教科書担当

- ・まず、本日の配付資料について、確認をする。1つめ、第1回選定委員会配付資料一式、次に、第2回選定委員会配付資料一式、そして、本日新たに配付した資料として、資料1：第3回、第4回選定委員会種目別調査員代表説明予定表、資料2：各種目の令和7年度使用教科用図書（中学校）調査の報告について、資料3：令和7年度使用中学校教科用教科書の見本本について、資料4：教科書の閲覧に関するアンケート。この資料2の報告書については、本来は、第2回のときに配付した資料3のような様式になっているが、本日は、その内容を一覧にまとめたものを見ていただきながら、各調査員から説明をしてもらう予定である。
- ・次に調査活動等の経過報告について説明する。中学校教科用図書13種目について、教育委員会が各3人の調査員を任命し、6月7日の調査員全体説明会をスタートに、調査員は各種目に分かれて、調査研究を行ってきた。調査研究を行うに当たっては、教科書見本本及び、大阪府教育委員会から送られてきた、令和7年度使用教科用図書選定資料中学校用を活用し、公正確保を図りながら、主体的且つ専門的に、綿密な調査を行っていただいた。

- ・7月2日には、調査員代表者である校長から調査結果をまとめた報告書、本日は資料2として、一覧にまとめて配付しているものを、各種目の令和7年度使用教科用図書（中学校）調査の報告書として提出してもらった。
- ・現在本市で使用している教科書については、第1回に配付した、資料9の一覧をご覧ください。また、今回の採択の対象となるすべての教科用図書については、第2回に配付させていただいた資料4：令和7年度（2025年度）使用中学校用教科書の発行者別一覧をご覧くださいと思う。
- ・教科書採択に対し、広く教職員に関心をもってもらうため、5月20日から中学校ごとに5日間の期間を設定し、見本本を回覧し、全19中学校での回覧が終了した。その際、新しい教科書についてのよい特長等を書く機会を設けている。
- ・市民に教科書を見てもらうため、枚方市立教育文化センターにある教科書センターおよび枚方市立中央図書館で、6月6日から13日まで法定外展示、6月14日から6月29日まで法定展示を行い、期間中、81人の閲覧者があったと報告を受けている。このあと、時間をとり、資料3の学校からの意見書及び、資料4の教科書センターでの閲覧者の意見をご覧くださいと思う。

井手内委員長

- ・少し時間をとる。

教科書担当

- ・学校からの意見書、教科書センターの閲覧者の意見等は、こちらにまとめている。適宜、ご覧ください。
- ・9:15より、の調査員代表から調査報告を受けていただき、審議のうえ、答申の内容をまとめていただくことになる。

井手内委員長

- ・審議に入る。この後については、①学習指導要領の目標並びに内容を基本とし、府の選定審議会資料を活用しながら、よい特長の事実列記と記載するかたちで作成された調査員報告書などをご覧くださいながら、調査員代表による説明を受けていただく。説明後、質疑を行い、各自ご意見を整理していただきたいと思う。
- ②調査員退室後、さまざまな角度からご意見をいただき、選定委員会としての一定の見解を出していきたいと考えている。
- ③可能な限り全委員一致でまとめていきたいと考えている。
- ④種目の説明の順番については、資料①第3回、第4回選定委員会種目別調査員代表説明予定表のとおりに行う。

(2)令和7年使用中学校教科用図書採択に係る調査員報告

(3)令和7年度使用中学校教科用図書採択に係る選定審議

【種目名 美術】

井手内委員長

- ・調査員代表の入室を認める。

<美術科調査員代表 枚方市立津田中学校長 田中 博 入室>

井手内委員長

・調査結果について、報告をお願いします。

<調査員より調査報告書に基づき報告>

井手内委員長

・ただ今の報告の中で質問はないか。

田中副委員長

・主体的・対話的で深い学びを促すような工夫として、各発行者ではどのような工夫がなされているのか。

調査員代表

・3者ともに、題材のはじめに表現につながる鑑賞作品を示したり、作品とともに「作者の言葉」を掲載したりすることで、作品から感じた思いや考えから、造形的な見方・考え方を広げ、表現や鑑賞の活動に関連付けて主体的・対話的で深い学びを促すよう工夫されている。各発行者の、1年生の教科書を見てみると、開隆堂は、例えば14ページのように、各題材のページに、美術の学習内容と目標をわかりやすく示し、育てたい資質・能力がわかるように「小見出し」をつけている。また、先生と生徒のキャラクターが随所に登場し、深い学びへむかうよう、サポートをしている。光村図書は、24ページのように、表現と鑑賞の相互の関連を意識し、一つの題材の中で一体的に学べる構成をしており、各題材の目標をわかりやすく示している。また、題材ごとに「POINT」で具体的な問いが示されており、鑑賞を深める工夫がみられる。日本文教出版は、18ページのように、表現と鑑賞の一体化を意識した学習の流れとなるような紙面構成であり、各題材の目標をわかりやすく示している。また、題材ごとに「鑑賞の入り口」で具体的な問いが示されており、その他にも「造形的な視点」や「表現のヒント」など、着目させたい視点や手立てが具体的に提示されていることで、生徒が自ら学びたくなるように工夫されている。

中野委員

・各発行者においては、様々な作品や題材を取り扱っていると思われる。デザインのもつ役割として、目的や機能との調和のとれた美しさに加え、使う人の立場や気持ちを考えデザインされることも重要である。そういった意味で、子どもや大人、お年寄りや体の不自由な人など、できるだけ多くの人が快適に過ごし、共に生きる社会の実現に向けて、各発行者にみられる工夫を教えてほしい。

調査員代表

・生活や社会の中の美術を意識し、あらゆる人が共に生きる、インクルーシブな社会の実現に向けてという視点でみてみると、開隆堂では、2・3年80ページ〜に、「つながるデザイン」と題した人と人とのつながりをもてるようなデザインの題材がみられる。光村図書では、2・3年80ページ〜に、「みんなのためのデザイン」を紹介し、できるだけ多くの人が快適に使えるデザインを題材にしている。日本文教出版では、2・3年上46ページ〜に、「使うひとの立場で考える」と題し、多様な人が使いやすいように考えられた道具や設備には、ど

のような工夫が見られるのか、考えることができる題材となっている。

中田委員

美術で学んだことはさまざまな場面で生かされると思うが、カリキュラムマネジメントの視点から、他教科とのつながりにおいて、工夫がみられる発行者について説明願う。

調査員代表

・例えば開隆堂では、1年26ページ～「江戸の美術の面白さ」で、戦国時代が終わり、江戸時代となったときに花開いた日本の美術文化について学べるよう、社会科とのつながりが見られる。また、44ページ～、「ずっと木といっしょに」では、私たちの生活にあふれている木でつくられたものを題材としており、技術・家庭科とのつながりが見られる。光村図書では、1年30ページ～「響き合う形と色」で、音楽を聴き、広がるイメージが、より豊かになるよう音楽科とのつながりが見られ、31ページ右下には、つながる内容が記載されている。「暮らしをいろどる文様」の55ページでは、平面や球面の分割等のデザインを題材とし、数学科とのつながりが見られ、さらにページ下部に、道徳科とのつながりがあることも明記されている。日本文教出版においては、1年52ページ～「自然の美しさから生まれた」で、自然の造形を取り入れたデザインを題材とした理科とのつながりが見られ、56ページ～「土器」の題材では、縄文時代の火焰型土器が取り上げられ、社会科とのつながりが見られる。

千原委員

・中学校の美術で培っていく力が、生活や社会の場で生かされることを子どもたち自身が意識し、学んでいくことが大切だと感じる。例えば、美術に関わりながら社会で活躍する人を取り上げ、美術の学びが生かされていることが紹介されているような特長のある発行者はあるか。

調査員代表

・開隆堂では、2・3年120ページ～「美術と私と社会」において、そして日本文教出版においては、2・3年下5ページ～の閉じ込み「社会に生きる美術の力」において、美術に関わりながら社会で活躍する人を取り上げ、それぞれの人生の中で美術の学びが生かされ、美術の学習が社会とつながっていることが示されている。

井手内委員長

・本市の生徒にとってふさわしい教科書を2者程度あげるとすると、どのようになるか。また、主な理由はなにか。

調査員代表

・見やすい図や具体的な問いが示されている「POINT」などを配置し学習しやすくし、別冊の美術I資料では、材料や用具、表現方法の特性などを豊富に取り扱っている光村図書と、生徒が理解しやすく効果的な指導が行われるよう題材を主に見開き2ページで構成し、導入からふり返りまでの授業展開を意識し、工夫されている日本文教出版の2者になる。

井手内委員長

・他に質問はないか。

<なし>

井手内委員長

・調査員代表、ありがとうございました。

<美術科調査員代表 枚方市立津田中学校長 田中 博 退室>

井手内委員長

・先ほどの調査員代表からの報告や質疑応答、調査報告書等を踏まえて、何か確認しておくことはないか。

<なし>

井手内委員長

・教員や、市民、保護者の意見について説明を求める。

教科書担当

・寄せられた意見として、「鑑賞と表現が一体となり、つながっている題材がよい」や、「写真や資料が充実しているもの」「発想や鑑賞のしかたの説明が分かりやすいもの」「生徒が興味・関心を持ち、制作意欲がわくような題材、構成がよい」などの意見が寄せられていた。

井手内委員長

・各発行者とも、題材のはじめに表現につながる鑑賞作品を示したり、作品とともに「作者の言葉」を掲載したりすることで、造形的な見方・考え方を広げ、表現や鑑賞の活動に関連付けて主体的・対話的で深い学びを促すよう工夫されている。光村図書では、見やすい図や具体的な問いを示し、学習しやすい工夫がみられ、別冊の資料では、材料や用具、表現方法の特性などが豊富に取り扱われている。そして日本文教出版では、生徒が理解しやすく効果的な指導が行われるよう題材を見開きで構成し、導入からふり返しまでの授業展開を意識して、工夫がされていると認める。意義はないか。

<異議なし>

井手内委員長

・それでは、他の発行者のよい特長も含めて答申する。

【種目名 数学】

井手内委員長

・調査員代表の入室を認める。

<数学科調査員代表 枚方市立第一中学校長 棧敷 勝 入室>

井手内委員長

・調査結果について、報告をお願いします。

<調査員より調査報告書に基づき報告>

井手内委員長

・ただ今の報告の中で質問はないか。

中田委員

・生徒が数学的な見方・考え方をはたらかせながら学習を進めるために、各発行者が行っている工夫を説明願う。

調査員代表

・巻頭において、各発行者とも学習の進め方を取り上げている。具体的には、東京書籍は4～5ページの「大切にしたい数学の学び方」、大日本図書は 7～8 ページ「数学の世界へようこそ」、日本文教出版は8ページの「数学的な見方・考え方を身につけよう」、啓林館は1～2ページの「教科書の構成と使い方」、数研出版は8～9ページの「学習の進め方」、学校図書は2～5ページの「この教科書を使った数学の学び方」、教育出版は6～9ページの「大切にしたい数学的な見方・考え方」において数学的な見方・考え方を働かせながら学習を進めるための考え方が示されている。

中野委員

・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向け、各発行者ではどのように工夫しているか。

調査員代表

・「個別最適な学び」の観点では各発行者で工夫されており、章末・巻末に課題を掲載し、個人差に対応して補助的、発展的な学習が行えるようにしている。「協働的な学び」においても各発行者で工夫が見られ、生徒が話し合ったり考えを提示しあったりする場面が意図的に設けられている。東京書籍では、「友達の考えを知ろう」「話し合ってみよう」、日本文教出版では「話し合おう」、大日本図書では、「活動」、学校図書および数研出版では、生徒同士の対話の提示、啓林館では「説明しよう」「話し合おう」、教育出版では「友だちの考えを知ろう」「話し合ってみよう」が用意され、適度に、会話を通して数学的な場면을考察でき、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実が図られ、学びを深めることができる構成になっている

千原委員

・数学科における学びを日常生活や他教科の学習に広げるため、工夫している発行者の教科書があれば、その工夫されている点も併せて説明願う。

調査員代表

・各発行者とも、日常生活や実社会、他教科に結び付ける工夫を行っていると感じている。具体的には、東京書籍は「math connect」において、日本文教出版では「数学を仕事に生かす」において、教育出版は「数学の広場」において、学校図書は「数学の力」において、啓林館は巻末の「学びを生かそう」において、数研出版は「数学旅行」において、大日本図書では「発見！仕事のなかの数学」において、日常生活や実社会とのつながりを取り上げている。また、大日本図書および東京書籍は他教科マークを用意している。

井手内委員長

・本市の生徒にとってふさわしい教科書を2者程度あげるとすると、どのようになるか。

調査員代表

・啓林館では、「説明しよう」「話し合おう」として表記があり、主体的・対話的に学びを進める配慮があり、また、多数用意された2次元コードコンテンツも内容が一目でわかるようなマークとタイトルが設けられている。大日本図書においては、「解決のしかたを探ろう」「解決しよう」「深めよう」など、側注に示すことで学びを深める工夫がされている。また数研出版は数学的な見方・考え方をはたらかせてほしい場面を中心に引き上げ、対話の意味や対話に示された発問について考えながら、学びを深める配慮がある。そこで、敢えて申し上げると、啓林館、大日本図書、数研出版、この3者が枚方市の生徒にとってふさわしいと考える。

井手内委員長

・他に質問はないか。

<なし>

井手内委員長

・調査員代表、ありがとうございました。

<数学科調査員代表 枚方市立第一中学校長 棧敷 勝 退室>

井手内委員長

・先ほどの調査員代表からの報告や質疑応答、調査報告書等を踏まえて、何か確認しておくことはないか。

<なし>

井手内委員長

・啓林館は、例えば、2年生の180ページ「箱ひげ図とデータの活用」の単元において、インターネットの通信速度のデータについて調べている場面が扱われており、数学的な表現を用いて判断の理由を説明できる力を育成することができるよう工夫されている。また、このようにICTの活用を意識した教科書になっていることから、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図ることができると考えられ、ICTを積極的に活用する本市に適當であると判断するが、いかがか。大日本図書、数研出版も、数学的な見方・考え方をはたらかせて学びを深める工夫がされているなど、よい特長が認められる。その辺りのことも併せて、教育委員会に答申するが、意義はないか。

<意義なし>

井手内委員長

・それでは、他の発行者のよい特長も含めて答申する。

【種目名 保健体育】

井手内委員長

・調査員代表の入室を認める。

<保健体育科調査員代表 枚方市立蹺跼中学校長 村上 徹 入室>

井手内委員長

・調査結果について、報告をお願いする。

<調査員より調査報告書に基づき報告>

井手内委員長

・ただ今の報告の中で質問はないか。

田中副委員長

・新型コロナウイルスの流行が記憶に新しいが、感染症予防について、保健分野としての「感染症の予防等」の学習がクローズアップされているが、各発行者は感染症の予防についてどのように取り扱っているか。説明願う。

調査員代表

・感染症の予防等については、各発行者が自分自身の生活の中で、どう生かしていくかを考えさせるよう工夫して取り扱っており、東京書籍では、144 ページで、学習課題「病原体の感染のリスクを軽減するためには、どのようなことに気をつけたらよいでしょうか。」大日本図書では、133 ページで、活用して深めようで「インフルエンザにかかってしまった友達について、その要因を主体と環境に分けて考えてみましょう」大修館書店では、143 ページで、学習のまとめで「何が抵抗力を高めるのか、反対に何が抵抗力を下げるのか」学研では、155 ページで、学びを生かす・学びの活用で「自分のクラスが学級閉鎖になった時、症状のないあなたはどのように過ごすのが良いか」等を考えるよう学習活動を掲載している。

中田委員

・授業では、ただ単に知識を教えるだけでなく、生涯を通じて健康の保持増進ができるように、主体的に課題を見つけ、その解決をめざした活動を授業に取り入れていく必要があると考えるが、各発行者にはどのような工夫があるか。

調査員代表

・各発行者とも、授業の流れの中で、課題解決に向けて、グループで話し合ったり、発表したりするなど、多様な学習活動を効果的に行うことができるようになっている。具体には次にあげるような学習過程が示されている。東京書籍では、例として、教科書 56 ページ、運動やスポーツの必要性和楽しさでは「見つける」から「学習課題」、「課題の解決」そして「活用する」「広げる」。大日本図書では、例として、教科書4ページ、運動やスポーツの必要性和楽しさでは単元課題を「学習のねらい」として示し、「つかもう」から「話し合ってみよう」そして「活用して深めよう」。大修館書店では、例として、教科書6ページ、運動やスポーツの必要性和楽しさでは「今日の学習」として課題を示し、「課題をつかむ」から「身につける・考える」そして「まとめる・振り返る」。学研では、例として、教科書 16 ページ、スポーツの始まりと発展では「ウォームアップ・課題の発見」から、「学習の課題」、「エクササイズ・課題の解決」そして「学びを生かす。学びの活用」。以上のように各発行者が、生徒が自分のこととして課題を合理的に解決する学習活動が行えるよう工夫されている。

千原委員

・近年、青少年を中心に大麻や MDMA をはじめ、危険ドラッグなどの薬物の乱用が拡大している。薬物乱用の取扱いという観点から、各発行者の特長を説明願う。

調査員代表

・すべての発行者で、写真や挿絵、資料を使って薬物について取り扱っており、薬物乱用による心身および社会への影響を具体的に紹介し、単元末ではより発展的な課題を示している。単元末課題をみると、東京書籍では、103 ページにおいて「薬物乱用者が社会復帰するための社会の取り組みにはどのようなものがあるか調べてみよう。」、大日本図書では、83 ページにおいて「喫煙や飲酒、薬物乱用に誘われた自分、好奇心がわいた自分に対してメッセージをかいてみましょう」、大修館書店では、93 ページにおいて、「事例を読んでSNSを通した薬物の誘惑に惑わされないために、どんなことに注意すべきか、グループで話し合ってみよう」、学研では、99 ページにおいて、「薬物乱用について、ウェブサイトやポスターなどで防止のための情報が発信されている。それらを調べ、効果的であると考えた情報を取り上げ、その理由を説明してみましょう」のように、各発行者で取扱いがみられる。

中野委員

・台風や地震等、自然災害の発生は避けられない。その際、安全を確保するためには、どのように行動すべきかを学ぶことは重要と考えるが、各発行者の自然災害による被害の防止についての取扱いを説明願う。

調査員代表

・どの発行者も、自然災害および自然災害による傷害の防止については扱いがあり、単元末ではより発展的な課題を示している。単元末課題をみると、東京書籍では、79 ページにおいて「自分の住んでいる地域のハザードマップなどから気象災害時の危険や避難場所、避難経路を調べ、自分の防災タイムラインを作ってみましょう」、大日本図書では、99 ページにおいて「緊急地震速報が出されたとき、どのような行動をとればよいか考えてみましょう」、大修館書店では、111 ページにおいて、「自然災害によるけが防止のチェックポイントを考える」、学研では、117 ページにおいて、「学校から帰宅した午後4時頃に、大きな地震があった時どうするか」のように各発行者で取扱いがある。

井手内委員長

・本市の生徒にとってふさわしい教科書を2者程度あげるとすると、どのようになるか。

調査員代表

・全者とも、学習指導要領の目標である「生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを充実するための資質・能力を育成することを目指す」ということを、教科書全体の構成から、さまざまな場面で、興味・関心がわくよう工夫され、生徒が、生涯にわたって豊かなスポーツライフが実現できるよう随所に工夫が見られ、甲乙つけがたいが、言語活動（話し合ってみよう）が單元ごとに設定してある大日本図書と、巻末に健康や安全に関するスキルをまとめたスキルブックのある東京書籍をあげたいと思う。

井手内委員長

・他に質問はないか。

<なし>

井手内委員長

・調査員代表、ありがとうございました。

<保健体育科調査員代表 枚方市立蹉跎中学校長 村上 徹 退室>

井手内委員長

・先ほどの調査員代表からの報告や質疑応答、調査報告書等を踏まえて、何か確認しておくことはないか。

井手内委員長

・すべての発行者が学習指導要領の趣旨に沿った構成になっているが、中でも大日本図書は言語活動が数多く示されており、学習した内容をグループで意見交流する活動の設定など、主体的・対話的で深い学びができることから、総合的にみると最も優れている教科書と考えるが、いかがか。東京書籍にも巻末に健康や安全に関するスキルをまとめたスキルブックがあるなど、よい特長がそれぞれあるので、その辺りのことも併せて、教育委員会に答申する。意義はないか。

<意義なし>

井手内委員長

・それでは、他の発行者のよい特長も含めて答申する。

【種目名 社会 地理 地図】

井手内委員長

・調査員代表の入室を認める。

<社会科地理・地図調査員代表 枚方市立中宮中学校長 古川 敦史 入室>

井手内委員長

・調査結果について、報告をお願いします。

<調査員より調査報告書に基づき報告>

井手内委員長

・ただ今の報告の中で質問はないか。

田中副委員長

・学習指導要領では主体的・対話的で深い学びを実現するために、「地理的な見方・考え方」を働かせることが、地理的分野の目標に明示されている。生徒が自ら積極的に「地理的な見方・考え方」を働かせて学ぶために、各発行者はどのような構成の工夫をしているか。説明願う。

調査員代表

・各発行者とも、生徒が自ら積極的に「地理的な見方・考え方」を働かせて学習をするために、巻頭に地理的な見方・考え方「位置や分布」「人と自然のかかわり」「場所」「結び付き」「地域」の5つの視点で学習内容をとらえられるように示されている。東京書籍では、本文ページに用意されている「地理のミカタ」コーナーやキャラクターの発言、対話形式で課題を設定するコーナーから、思考の流れをつくるよう取り扱われている。また、学習のまとめでは、単元で学んだ知識を確認し、調べ学習や対話的な学習に関わって資料が整理され、考察・判断したことを、根拠や立場をもとに論理的に説明するための課題が示されるなど工夫されている。教育出版では、本文ページに用意されている「見方×考え方」コーナーやキャラクターの発言、「THINK!」コーナーから、思考の流れをつくるよう取り扱われている。また、学習のまとめでは、「学習のまとめと表現」で資料が整理されており、主体的に思考や議論を深めるための「TRY!」が設定されるなど、工夫されている。帝国書院では、本文ページに用意されている「見方・考え方」アイコンやキャラクターの発言、「対話」アイコンから、思考の流れをつくるよう取り扱われている。また、学習のまとめでは、「学習を振り返ろう」で資料が整理されている。主体的に思考や議論を深めるための「アクティブ地理 AL」が設定されるなど、工夫されている。日本文教出版では、本文ページに用意されている「見方・考え方」マークやキャラクターの発言、「学び合い」マークから、思考の流れをつくるよう取り扱われている。また、学習のまとめでは、「まとめとふり返し」で資料が整理されており、主体的に思考や議論を深めるための「議論してみよう」が設定されるなど、工夫されている。

中野委員

・今年の能登半島地震だけでなく、大雨による河川の氾濫など、昨今頻発する自然災害に対応した人々の暮らしのあり方を考えることは重要であり、防災・安全教育に関する指導を取り扱うべきと考えるが、このことについて、各発行者がどのように取り上げているのか説明願う。

調査員代表

・どの発行者も、自然災害に対応する内容を取り上げている。東京書籍では 168 ページの「スキルアップ」でハザードマップの読み取り方などが示されている。教育出版では 140 ページの「地域の防災について調べる」で身近な地域の災害の対策を調査項目の例とし、158 ページの「自然災害から身を守るために」でハザードマップの読み取りをし、身近な地域の災害の対策を課題としている。帝国書院では 150 ページからの「アクティブ地理AL」でハザードマップの読み取り方などが示され、日本文教出版では 154 ページで巨大地震について取り上げ、「持続可能な地域をめざして」でハザードマップの使い方が詳しく説明されている。

中山委員

・二次元コード等で興味をもつことができるような工夫が見られる。写真もわかりやすく、ハザードマップも載っており、よいと感じた。

中田委員

・学習指導要領には、近年のグローバル化の進展により、「グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成する」と社会科の目標が示され、「世界の諸地域の学習」で、地球的規模の課題等を主題として取り上げた学習を充実させるとある。このような地球規模の課題について、各発行者でどのように取り扱っているかを説明願う。

調査員代表

・各発行者ともSDGsについて取扱い、「世界の諸地域」の学習においては、アジアからオセアニアまで6つの地域に分け、それぞれの地域での地球的課題と関連付けて地域の特長をとらえることができるように工夫されている。東京書籍では、巻頭で取りあげ、関連付けた5つのテーマで全体を貫き、主体的に現代の世界や日本の課題を読み解いたり追究したりする学習展開になるように工夫されている。教育出版では、巻頭で特設コーナーとして「持続可能な社会に向けて クロスロード」で取りあげるなど、「世界の諸地域」各州の導入において地球的課題と関連付けている。帝国書院では、巻頭で取りあげ、「日本の諸地域」各地方での「未来に向けて」において事例を掲載して関連付けしている。日本文教出版では巻頭で取りあげ、「議論してみよう」「持続可能な地域をめざして」において、主体的に現代の世界や日本の課題を読み解いたり追究したりする学習展開になるように工夫されている。

千原委員

・自身の学びの振り返りや個別最適な学びを進めていく子どもたちにとって、二次元コードは、大変有益なコンテンツの一つと考えている。各発行者、どのように取り扱われているか。いくつか例を挙げて説明願う。

調査員代表

・どの発行者も、学習進度に合わせて自ら学べるよう、二次元コードから豊富なコンテンツにつながるができるようになっている。各者とも、個別最適な学びを実現するための、動画や画像の資料、ワークシートな

どのデジタルコンテンツが用意されているなどの工夫が見られる。例えば、東京書籍、日本文教出版では各ページに2次元コードが掲載されている。教育出版では、単元の最後に掲載されており、習得した知識の確認ができるようになっている。帝国書院では、各節ごとに始めの単元や「学習を見通そう」、「学習を振り返ろう」に記載されている。

井手内委員長

・他に質問はないか。なければ引き続き、地図について調査結果の報告をお願いする。

<調査員より調査報告書に基づき報告>

井手内委員長

・ただ今の報告の中で質問はないか。

田中副委員長

・地図帳は社会科の授業の中で、教科書と並行して資料として活用するものである。地図資料としては何よりも見やすく、使いやすいものであることが大切であると考え。この観点において、各発行者の特長を説明願う。

調査員代表

・東京書籍ではキャラクターのコメントを通して、資料のポイントを整理し、生徒が資料を読み取り、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。また、複数の図を比較検討する問いが設定されており、例えば江戸と東京の鳥瞰図を比較して当時と現在の違いを資料活用能力や思考力を働かせ、多面的・多角的に考えることができるように工夫されている。帝国書院では、鳥瞰図が記載されており、授業で活用することによって、生徒に記載された地域の具体的なイメージを持たせることができる。また、地図をもとに確認したり深めたりする「地図で発見!」のコーナーの中では、地図から資料活用能力や思考力を働かせ、考える内容が設定されており、多面的・多角的に考えることができるように工夫されている。

中野委員

・地図帳は社会科の授業だけでなく、他の教科や日常生活の中でも活用できるものである。この点において、各発行者の地図帳の工夫している点を説明願う。

調査員代表

・東京書籍では、「現代社会の課題を解決するために『SDGs』を知ろう!」などのページにおいて SDGs、環境問題、世界の文化、貧困、世界の紛争等が取りあげられている。また、「Bee's eye」のコーナーでは、自ら調べたり考えたりする学習課題が設けられているところがあり、個別最適な学びを充実させるとともに、その課題をテーマに、子どもたちが意見交流を行う活動を通して、協働的な学びが充実するように図られている。帝国書院では、巻頭の特集ページ「地図で考える持続可能な社会」などにおいて SDGs、環境問題、食糧問題、世界の紛争、世界の文化等が取りあげられている。「主題学習」のコーナーでは、自ら調べたり考えた

りする学習課題が設けられているところがあり、個別最適な学びを充実させるとともに、その課題をテーマに、子どもたちが意見交流を行う活動を通して、協働的な学びが充実するように図られている。

井手内委員長

・地理の教科書について、本市の生徒にとってふさわしい発行者を2者程度あげるとすると、どのようなになるか。

調査員代表

・各単元のはじめにゴールを示して活動の方向性を示し、各単元のまとめのワークシートが主体的・対話的で深い学びにつながる東京書籍と、各単元の最初の地図が見やすく、よりよい社会をめざす、持続可能な開発目標が教科書全体のテーマとなっており、主体的・対話的で深い学びにつながる帝国書院になる。

井手内委員長

・次に、地図について、1者あげるとすると、どの発行者になるか。その大きな理由は何か。

調査員代表

・大版で見やすく、イラストや立体的な地図が豊富であり、生徒が実際の場所のイメージを持つことが容易にでき、かつ生徒が興味、関心、意欲を持って地理学習に取り組むことができる帝国書院である。

井手内委員長

・他に質問はないか。

<なし>

井手内委員長

・調査員代表、ありがとうございました。

<社会科地理・地図調査員代表 枚方市立中宮中学校長 古川 敦史 退室>

井手内委員長

・先ほどの調査員代表からの報告や質疑応答、調査報告書等を踏まえて、何か確認しておくことはないか。

<なし>

井手内委員長

・教員や市民からのアンケートでは、どのような意見が寄せられていたか。

教科書担当

・アンケートをみると、「今の教科書はカラーで見やすい」や「平和、人権、民主主義思想に貫かれた内容であるべき。」といった意見が寄せられていた。

井手内委員長

・地理について。東京書籍は、生徒が自ら積極的に「地理的な見方・考え方」を働かせて学習をするために、単元で学んだ知識を確認し、調べ学習や対話的な学習に関わって資料が整理され、考察・判断したことを、根拠や立場をもとに論理的に説明するための課題が示され、主体的・対話的で深い学びにつながる指導ができると考えられる。帝国書院も、学習のまとめで、資料が整理され、主体的に思考や議論を深める設定されており、主体的・対話的で深い学びにつながる指導ができると考えられる。その辺りのことも併せて、教育委員会に答申する。意義はないか。

<異議なし>

・次に、地図について。帝国書院は大版で見やすく、イラストや立体的な地図が豊富で生徒が実際の場所のイメージを持つことが容易であり、個別最適な学びを充実させるとともに、協働的な学びが一体的に充実するように図られているなどよい特長がみられる。2者ともそれぞれ良い特長があるため、その辺りのことも併せて、教育委員会に答申する。意義はないか。

<異議なし>

井手内委員長

・それでは、他の発行者のよい特長も含めて答申する。

【種目名 社会 公民】

井手内委員長

・調査員代表の入室を認める。

<社会科公民調査員代表 枚方市立渚西中学校長 野口 明郎 入室>

井手内委員長

・調査結果について、報告をお願いする。

<調査員より調査報告書に基づき報告>

井手内委員長

・ただ今の報告の中で質問はないか。

千原委員

・2次元コードは、自身の学びの振り返りや個別最適な学びを進めていく子どもたちにとって大変有益なコンテンツの一つと考えている。特に思考ツールを活用したシートや動画でわかりやすくまとめたもの、確認小テスト等により学習の定着を図るツールは、主体的な学びを実現するために、大変貴重なものとなるが、どのようなものが取り扱われているか。いくつか例を挙げて説明願う。

調査員代表

・各者とも、個別最適な学びを実現するための、動画や画像の資料、ワークシートなどのデジタルコンテンツが用意されているなどの工夫が見られる。例えば、東京書籍、日本文教出版では各ページに2次元コードが掲載されている。教育出版では単元の最後に掲載されており、習得した知識の確認ができるようになっている。帝国書籍では、各節ごとに始めの単元や「学習の前に」「学習を振り返ろう」に記載されている。また、デジタルコンテンツの掲載はないが、自由社では、各章のまとめとして、語句の確認等が配置され、自身で振り返りができる工夫が見られる。

田中副委員長

・学習指導要領では「現代社会の見方・考え方」を働かせて、主体的・対話的で深い学びを実現することが示されている。生徒が主体的に学びに向かえるような単元を貫く探究課題が設定できるように、各発行者ではどのような構成の工夫をしているか。説明願う。

調査員代表

・各者とも、生徒が主体的に学びに向かえるような単元を貫く探究課題が設定できるように工夫が見られるが、東京書籍では、「みんなでチャレンジ」によるグループ学習を元にし、協働的な学びを意識した、子どもたちが自分ごとと捉える探究課題が工夫されている。他にも、この章のまとめのスペースにより子どもたちが見通しを持って学びに向かうことができる工夫が見られる。また、ワークを活用した各章の問いが示されるとともに、各章の終わりにある「深めよう」と関連した子どもたちが学習内容を活用する場面を設定する工夫がされている。教育出版では、漫画やイラストを多用した親しみやすい資料の読み解きや活動を通じて、学習への生徒の興味・関心を高めることができる。また、「ウォーミングアップ! 公民」に取り組みながら、問題意識を醸成しつつ、単元を貫く課題を捉え、共有できる。各章の終わりにある「学習のまとめと表現」で、学習を振り返って整理する場面が設定されている。また、各章ごとに働かせる見方・考え方を明記するなど、各章を見通すための工夫が見られる。日本文教出版では、各章の初めに「どんな学習をするのかな?」や、各章ごとに働かせる見方・考え方を明記するなど、各章を見通すための工夫が見られる。また、イラストを元にわかりやすく各章の問いが示されるとともに、各章を貫く問いや節ごとの問いが示された構成となっている。自由社では、各章の初めに章を貫く問いかけがあり、毎時間ごとの課題が示された構成となっている。育鵬社では、「〇〇の入口」で、学習する意義や学び方が提示されており、章の学習を貫く問いを意識しながら、学習の見通しを持つことができる。章末では「〇〇のこれから」が儲けられ、章の学習内容を活かして学びを深められるようになっている。

井手内委員長

・「令和の日本型学校教育の構築を目指して」(答申)においては、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実について示されており、「個別最適な学び」が「孤立した学び」に陥ることがないように、「協働的な学び」を充実することが重要だとしている。全ての生徒が「協働的な学び」をするために、各発行者ではどのような構成の工夫をしているか。説明願う。

調査員代表

・各者とも、協働的な学びができるよう、課題が設定されているが、教育出版では、協働的な学びができるよう、「公民の技」のコーナー・「THINK!」で、他者との対話や意見交換を通して学びを習得できる課題が設定されている。各節の「表現」の中で「公民の技」「THINK!」につながる。そして自分ごととして捉えることや他者との交流を意識した設問が設定されている。日本文教出版では、協働的な学びができるよう、「学び合い」や「アクティビティ」のコーナーでは他者との対話や意見交換を通して学びを習得できる課題が設定されている。また、各節の「表現」の設問が、他者の意見と触れたのちに、自分考えを深める設問となっている。自由社では、協働的な学びができるよう「アクティブに深めよう」のコーナーでは、他者との対話や意見交換を通じて学びを習得できる課題が設定されている。

中田委員

・社会科の目標には「多面的・多角的な考察や深い理解」とあり、公民分野の学習を社会とつなげるだけでなく、地理分野・歴史分野も含め、他教科や小学校の時に学んだこととも関連付け、深い学びの実現に向けて、様々な分野とのかかわりについて理解することが重要となってくる。公民分野の学びを多様な分野と関連させ、つなげるという観点において、各発行者はどのように取り扱っているか。説明願う。

調査員代表

・各者とも、他教科との関連をわかりやすく表記されているが、東京書籍では、各分野や他教科の学習内容との関わりが「他分野・他教科との関連を図った学習」・「小学校の社会で習ったことば」として、わかりやすく、マークで各資料や各章のはじめに付されている。帝国書院では、各分野や他教科の学習内容との関わりや、各章の導入にある「学習の前に」のイラストに対応する語句が「小学校、地理や歴史の学びと関連する資料」「小学校、地理や歴史、他教科で学ぶ事項」として、わかりやすく資料の説明箇所に「小地歴」マークや見開き下部に示されている。育鵬社では、地理・歴史で学んだ学習内容との関わりが、「地理・歴史」マークとして見開き左部に示されている。

牧村委員

・コンビニエンスストアの経営者になってみよう等で、子どもたちが社会に出るシミュレーションのような教材が見られる。十八歳へのステップでも、契約と支払い等について、このように教科書に載っていることがすごい。クレジットカードの扱いについてもそうである。興味を引き付ける題材が多くある。

井手内委員長

・本市の生徒にとってふさわしい教科書をいくつかあげるとすると、どのようになるか。

調査員代表

・東京書籍、教育出版である。生徒が主体的に学びに向かえるような単元を貫く探究課題が設定できるだけでなく、全ての生徒が「協働的な学び」をするための構成がなされている。

井手内委員長

・他に質問はないか。

<なし>

井手内委員長

・調査員代表、ありがとうございました。

<社会科公民調査員代表 枚方市立渚西中学校長 野口 明郎 退室>

井手内委員長

・先ほどの調査員代表からの報告や質疑応答、調査報告書等を踏まえて、何か確認しておくことはないか。

<なし>

井手内委員長

・教員や市民からのアンケートでは、どのような意見が寄せられていたか。

教科書担当

・アンケートをみると、「今の教科書はカラーで見やすい」や「平和、人権、民主主義思想に貫かれた内容であるべき。」「話題性のある事例を説明しているのは、学習する子どもたちの興味を引きおこす。」「史実とは違うことが書かれているようなものは使わないで欲しい。」といった意見が寄せられていた。

井手内委員長

・東京書籍は社会とのつながりも踏まえた、章ごと・節ごと・本時ごとの単元を貫くきめ細かい課題解決的な学習ができる課題設定と、それらの課題を解決しながら主体的・対話的で深い学びができる構成や個別最適な学びを進められる工夫が優れていると認められるが、いかがか。また、教育出版も、課題を解決しながら生徒が主体的に学びに向かえるような単元を貫く探究課題が設定できるだけでなく、全ての生徒が「協働的な学び」をすすめていくための構成になっていると考える。その辺りのことも併せて、教育委員会に答申する。異議はないか。

<異議なし>

井手内委員長

・それでは、他の発行者のよい特長も含めて答申する。

【種目名 英語】

井手内委員長

・調査員代表の入室を認める。

<英語科調査員代表 枚方市立杉中学校長 畑 克延 入室>

井手内委員長

・調査結果について、報告をお願いします。

<調査員より調査報告書に基づき報告>

井手内委員長

・ただ今の報告の中で質問はないか。

田中副委員長

・令和3年1月の中央教育審議会答申では「個別最適な学び」「協働的な学び」の一体的な充実を図り、授業改善を進めるよう示されている。この点において、各発行者どのような工夫がなされているのかを説明願う。

調査員代表

・「個別最適な学び」については各者とも、デジタル教科書やデジタルコンテンツを配備し、自学できるツールが整っている。また、「協働的な学び」についても、どの発行者ともペアやグループで活動したり、発表したりする場面設定がなされている。例えば2年生の教科書でみると、東京書籍では、80ページ‘Stage Activity’、開隆堂では41ページ‘Our Project’三省堂では80ページ”Project”で、教育出版では44ページ‘Project’、光村では86ページ”You can do it”で、啓林館では88ページ”Project”で、グループで課題に取り組み、発表したりなど、全学年で対話を通して課題解決する活動が設定されている。

中田委員

・学習指導要領の目標に、外国語による「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の言語活動を通してコミュニケーションを図る資質・能力を育成する」とあるが、このような英語でつきたい力をつけるための各発行者の特長や工夫について説明願う。

調査員代表

・各発行者とも、学習指導要領の目標にそって、外国語による「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の4技能を特化したページ、あるいは融合させたページを設定して、コミュニケーションを図るための5領域の資質・能力を育成することに工夫が見られる。4技能について3年間で取り扱う割合には各者特徴があり、たとえば東京書籍、教育出版では各者のなかで読むことの割合が他の技能より取り扱うページ数の割合が多くなっている。三省堂、光村図書は話すことの取扱いページが他者と比べ、割合が多い。開隆堂と啓林館においては、技能間で多少の軽重はあるものの、4技能の取扱いは平均的といえる。この2者について言うと、開隆堂では読むことに、啓林館では話すことにやや割合が高いという特徴がある。

中野委員

・令和2年度より、小学校5・6年で外国語活動が教科化され、小学校で慣れ親しんだ英語を引き継ぎ、円滑に中学校での英語の学習に取り組めることが大切となっている。この点から見たとき、特に接続期となる1年生初期における各発行者の構成や工夫について、説明願う。

調査員代表

・1年生の教科書を見てみると、東京書籍では、6 ページ～から 10 ページが小学校の振り返り単元の設定となっており、後の単元においても小学校での表現や単語に「聞く」「話す」「読む」「書く」の活動を通して何度も触れることで、理解を深め定着を促す工夫が見られる。開隆堂では、7ページ～20 ページにおいて、「聞く」活動から「話す」「書く」まで振り返る構成が見られ、「アルファベット」や「つづり字」と「発音」など文字にかかわる内容も確認できる構成となっている。三省堂では、7ページ～24 ページにおいて、サイコロトークやビンゴなどのゲーム要素のあるアクティビティで、小学校の英語を振り返る工夫がみられる。教育出版では、6ページ～17 ページにおいて、Spring Board 1～6 で、まとまりのある平易な英語を聞く活動から、「読むこと」の基礎となるアルファベットの学習を段階的に進める工夫がある。光村図書では、6ページ～19 ページにおいて、「Let's Be Friends!」は、小学校で学習した表現や語句を使って活動できる構成となっている。啓林館では、4ページ～10 ページにおいて小学校で「聞く」「話す」で慣れ親しんだ語彙や表現について確認することができる。

中田委員

・各者とも、自学自習に役立てられる学習者用のデジタル教材が設定されており、また、令和6年度以降、紙の教科書とあわせてデジタル教科書が提供される予定と聞いている。生徒が自ら見通しを持って学習に取り組める観点から各発行者の特長について説明を願う。

調査員代表

・各発行者とも自学自習を支援する二次元コードを活用したデジタル教材が豊富にあり、デジタル教科書についても、言語活動の効果を高める工夫や様々な支援への対応と魅力あふれた構成になっている。開隆堂の単語学習アプリでは、日本語選択、英語選択、フラッシュカード機能での日本語・英語選択など、計4つの出題パターンで新出単語・熟語の学習を自学で進めることができる。どの発行者も動画コンテンツを配備しているが、特に開隆堂の画面構成は単元で扱うコンテンツが見やすくまとめられており、アクセスしやすい印象がある。光村図書は教科書のストーリーの番外となる補充用リーディング教材が全ユニットに用意され、二次元コードから視聴できる。また、デジタル教科書についても画面のツールバーがシンプルで操作しやすい印象がある。

井手内委員長

・本市の生徒にとってふさわしい教科書を2者程度あげるとすると、どのようになるか。

調査員代表

・全ての発行者を調査させていただいた結果、どの発行者もさまざまな工夫を凝らした改訂をされており、より使いやすさを追求されたものになっている。そのうえで、令和5年度全国学力・学習状況調査の英語における本市の結果分析から、言語活動を充実させることに重点を置いたとき、「単元の見通しやすさ」「題材」「小中の円滑な接続」がポイントとなると考えると、どの発行者も工夫をされているが、総合的な判断、とりわけ取り扱う題材や内容の程度から「開隆堂」「光村図書」の2者を推薦する。

井手内委員長

・他に質問はないか。

<なし>

井手内委員長

・調査員代表、ありがとうございました。

<英語科調査員代表 枚方市立杉中学校長 畑 克延 退室>

井手内委員長

・先ほどの調査員代表からの報告や質疑応答、調査報告書等を踏まえて、何か確認しておくことはないか。

<なし>

井手内委員長

・教員や、市民、保護者の意見はいかがか。

教科書担当

・寄せられた意見として、「生徒が興味・関心を持つことができる題材がよい」や、「巻末の文法のまとめ等が充実しているもの」「本文内容や文法事項、新出単語等、生徒にとってわかりやすい構成がよい」などの意見が寄せられていた。

井手内委員長

・各発行者とも、学習指導要領の目標にそって、外国語による「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の4技能を特化したページ、あるいは融合させたページを設定して、コミュニケーションを図るための5領域の資質・能力を育成することに工夫が見られる。そして開隆堂、光村図書においては、言語活動を充実させることに重点を置いたとき、ポイントである「単元の見通しやすさ」「題材」「小中の円滑な接続」の点で、とりわけ取り扱う題材や内容の程度から総合的にみて工夫が見られると認めるが、いかがか。

<異議なし>

井手内委員長

・それでは、他の発行者のよい特長も含めて答申する。

(4) その他

(5) 閉会の挨拶

井手内委員長

・美術、数学、保健体育、社会地理地図、社会公民、英語についての調査報告並びに審議が終了した。各種目・教科ごとに確認した意見は、教育委員会に答申としてまとめさせていただく。

- ・小学校については、前回の選定委員会で申し上げたが、文部科学省からの通知に「令和5年度に採択したものと同一の教科書を採択しなければならないこと。」とあることから、現在、枚方市が使用している教科書について、まとめていくこととする。答申をまとめるにあたり、意見はないか。

<なし>

井手内委員長

- ・これをもって、枚方市地区第3回選定委員会を終了する。明後日の第4回選定委員会への出席をお願いする。